

茨城県支部会報

URL : http://www.engineer.or.jp/c_shibu/ibaraki/E-mail : ibaraki@engineer.or.jp

内容	・2013年度年次大会	1
	支部長挨拶	1
	茨城県支部新組織の紹介	2
	2013年度活動計画	3
	・講演会・交流会開催	3
	・霞ヶ浦環境科学センター夏祭り	4

2013年度年次大会

2013年7月28日(日)14時より、ひたちなか市勝田ワークプラザにおいて、茨城県支部の第2回年次大会が多数の来賓のご臨席を賜り開催された。本田支部長の挨拶の中で、昨年の発足からの1年の活動を振り返りながら、会員技術士の力を結集し、地域に密着した技術士活動の活性化を図る重要性が改めて確認された。

ご来賓を代表して、茨城県中小企業団体中央会専務理事の千葉実様より、中小企業経営に対して技術士が貢献すること、支部組織が連携の力を引き出していくことについての期待と希望を込めたご挨拶をいただいた。

改選された支部幹事、任命された事務局員、委員会組織の紹介に引き続き、平成24年度の支部活動報告・決算報告、平成25年度の計画書・予算書について報告が行われた。平成25年度の取り組みとして、技術士及び技術者の倫理の啓発、技術士の資質向上、技術士制度の普及・啓発、業務開発及び活用促進、技術系人材の育成、地域社会貢献、情報発信・連携の強化、組織運営の強化の8項目が紹介された。



ご挨拶をされる中央会専務理事千葉実氏

支部長挨拶

茨城県支部 支部長 本田 永信

本日は暑いなか年次大会・講演会に出席いただきありがとうございます。また、ご来賓の方々には多用なところ日曜日にもかかわらずご臨席賜り誠にありがとうございます。

昨年、茨城県支部が設置され活動がスタートしてから一年がたちました。この間、年次大会・講演会、新年講演会・交流会、二次試験合格者祝賀会・講演会の開催、「茨城県霞ヶ浦環境科学センター夏祭り2012」および「青少年のための科学の祭典ひたちなか大会」に出展、CPDミニ講座「ザ・技術士」開催、テーマ毎のCPD啓発講座で見学会の開催、中小企業支援への関係機関との連携活動、JABEE関係者への説明、茨城県支部のホームページの開設、支部会報の発行などを行いました。支部として立ち上がったばかりでありまだまだ十分な対応ができていない面もあるかと思いますが、この一年の実績をもとに着実に活動を積み上げてまいります。

今年は役員選挙があり茨城県支部も一部役員が変更となっております。茨城県の科学技術の向上と産業経済の発展に貢献し、技術士の方々が活発に活動できるよう新しい役員組織で取り組んでまいりますので、皆様方のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

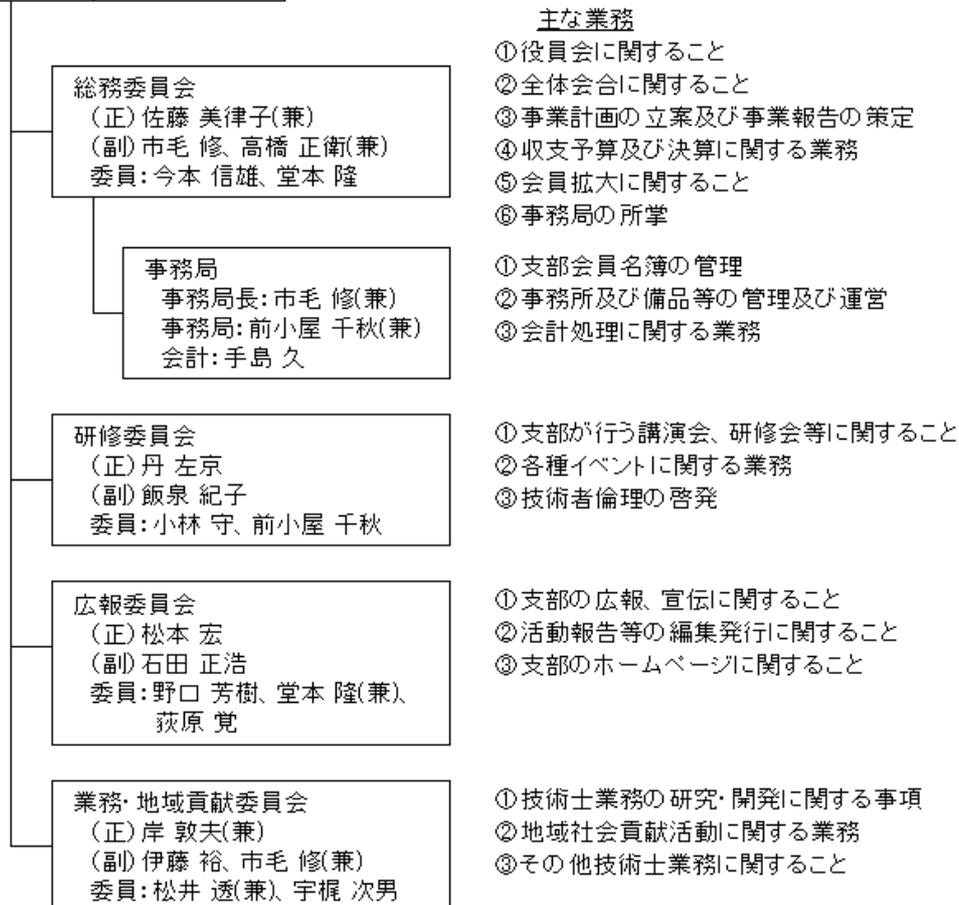


本田支部長

茨城県支部組織の紹介

支部役員会	
支部長	本田 永信
副支部長	岸 敦夫 ①
副支部長	佐藤 美律子 ②
幹事	別表参照
会計幹事	松井 透
会計幹事	高橋 正衛

①②は支部長代理順位



支部役員

No.	氏名	技術部門	担当
1	飯泉 紀子	情報工学	研修委員会
2	石田 正浩	情報工学	広報委員会
3	市毛 修	電気電子、総合技術監理	事務局、総務委員会、業務・地域貢献委員会
4	伊藤 裕	原子力・放射線	業務・地域貢献委員会
5	今本 信雄	電気電子、原子力・放射線	総務委員会
6	岸 敦夫	機械	副支部長、業務・地域貢献委員会
7	小林 守	経営工学、情報工学、総合技術監理	研修委員会
8	佐藤 美律子	建設	副支部長、総務委員会
9	高橋 正衛	電気電子、総合技術監理	会計幹事、総務委員会
10	丹 左京	建設	研修委員会
11	堂本 隆	電気電子、情報工学、総合技術監理	総務委員会、広報委員会
12	野口 芳樹	機械	広報委員会
13	本田 永信	電気電子、総合技術監理	支部長
14	前小屋 千秋	応用理学	研修委員会、事務局
15	松井 透	金属、経営工学	会計幹事、業務・地域貢献委員会
16	松本 宏	電気電子、総合技術監理	広報委員会

2013 年度活動計画

No.	活動テーマ	活 動 内 容
1	技術士及び技術者の倫理の啓発	講演会等の機会を捉え、技術者倫理の啓発に努める
2	技術士の資質向上	①「年次大会での CPD 講演会」、「新年講演会」の開催 ②「技術士 CPD ミニ講座」の定例開催 ③テーマごとの CPD 啓発講座の開催
3	技術士制度の普及・啓発	①県および関連機関への技術士の活用及び技術士制度に関する提言や働きかけ ②中小企業への支援に関する県内での活動計画の検討
4	業務開発及び活用促進	①県商工労働部産業技術課との意見交換会 ②県施策への積極的参加 ③茨城県工業技術センター、(財)茨城県中小企業振興公社などとの連携による中小企業支援業務への参画
5	技術系人材の育成	①修習技術者に対する支援体制の充実 ②大学・高専などの教育機関に対する技術士および技術士制度についての普及啓発
6	地域社会貢献活動	①青少年のための科学の祭典、霞ヶ浦環境科学センター夏祭りなどに 出展。理科教育、環境保全計画についての地域貢献活動 ②各種養成講座等への講師派遣
7	情報発信・連携の強化	①ホームページ茨城県支部の充実 ②茨城県支部のパンフレットの作成 ③県支部会報等の定期的発行
8	組織運営の強化	役員会、委員会、事務局等支部組織の充実と円滑な運営

講演会 年次大会に引き続き、講演会が実施されました。

◆ 講演 1 「ここまで来た日本の宇宙開発/日本人宇宙飛行士国際宇宙ステーションに滞在」

宇宙アカデミー きくやま 技術士(金属、航空・宇宙) 菊山 紀彦 氏

スペースシャトルによる有人実験支援の宇宙開発から宇宙航空研究開発機構(JAXA)での事例、これまでの日本人宇宙飛行士の活躍をご紹介いただいた。

国際宇宙ステーションでの滞在や、無事に帰還した宇宙飛行士との交流など、映画を見ているような行雲流水ごとき講演であった。その中で、「私たち生物が生存している大気の厚さはわずか16km、バスケットボールの表面を濡らした時の水膜ほどしかない。」などわかりやすい解説であった。

現在、国際宇宙ステーションを建造し、宇宙飛行士を常駐させるまでに進歩してきたが、その一方で、オゾンホール拡大など、地球の大気層が急速に破壊している。さらに熱帯雨林の伐採などにより地球の陸地の三分の一がすでに砂漠化し、環境破壊が想像以上の規模で急速に進んでいることを挙げられ、環境への配慮を心がけるよう呼び掛けられた。また、地球は豊かな生命の星であり続けて欲しい熱意が伝わった。



講演される菊山氏

◆ 講演 2 「中性子を使った次世代がん放射線治療：BNCT の研究開発」

筑波大学 医学医療系 生命医科学域 准教授 医学博士 熊田 博明 氏

未だ治療法が確立されていない難治がんや再発がんに対する次世代のがん治療法として注目されているホウ素中性子捕捉療法(BNCT)について、研究の現状とプロジェクトの概要について紹介いただいた。

がん患者がBNCTで回復した実例の映像による解説もあり、とてもリアルであった。

治療に中性子線を用いるBNCTは、近年の加速器技術の進展により原子炉に代わって、病院でも小型加速器を使った治療装置としての研究開発がなされているようである。

加速器はJ-PARCの加速器技術を応用してBNCT専用の直線型加速器を開発している。また、プロジェクトでは加速器だけでなく、治療が必要となる放射線モニターや治療計画ソフトウェア等も合わせて開発されており、今後のBNCT事業の実用化に期待したい。



講演される熊田氏

交流会

年次大会、講演会に引き続き、茨城県支部懇親会が開催された。茨城県商工労働部産業技術課課長の中島勝也様から、茨城県におけるサポーターインダストリー（ものづくり基盤技術）補助制度の現状の紹介があった。企業が販路を広げるとともに技術を磨き盤石な経営を築くことが重要であり、これに技術士がナビゲーターとして貢献することが期待されているとのお挨拶があった。

茨城県中小企業団体中央会専務理事の千葉実様の乾杯の音頭に引き続き、ご来賓、支部会員の間で情報の交換等が行われた。



盛り上がった交流会

霞ヶ浦環境科学センター夏まつり 2013

去る8月24日(土)「霞ヶ浦環境科学センター夏まつり 2013」に出展した。出展内容は、茨城県支部活動パネルの展示、生卵を利用した比重実験、光るスライムづくり、子供向けアンケート調査である。中でも光るスライムは大盛況で用意した材料を使い切り終了した。

光るスライム工作の待ち時間を利用して日本技術士会発行のパンフレット「技術士って？ ～これが技術士の世界～」を紹介し、質問に答えた。前日夕方から雨が降りはじめ開催が危惧されたが、当日は天候も回復し4,200名の来場者数（主催者発表）で賑わった。

本イベントは毎年開催されるので会員各位の参画を期待する。



編集後記

- ◆ 日本技術士会本部選挙に合わせて支部役員選挙も行われ、新役員16人でスタートを切りました。
- ◆ 1月に発行した創刊号に続いての第2号です。
- ◆ 編集委員会は下記5名の体制で会誌発行、月刊「技術士」への情報掲載、日本技術士会ホームページへの情報掲載などを行っていきます。
- ◆ 会員諸氏のこれまでに変わらぬご支援をお願いいたします。

(Mi)

広報委員会：松本 宏(委員長)、石田 正浩、野口 芳樹、荻原 覚、堂本 隆

・情報提供は、E-mail：matsumoto_pe@net1.jway.ne.jp(松本)まで